

新規痛風治療薬の創製研究

— 製薬企業における研究開発の進め方 —

帝人株式会社 近藤研究室 室長 フェロー

近藤 史郎 先生

日時：平成 24 年 10 月 19 日 (金) 15 時—16 時

場所：南 7 号館 4 階 会議室

近藤史郎先生は、40年ぶりの痛風・高尿酸血症治療薬であるフェブキソスタットの開発において、プロジェクトを立案され、創薬合成を担当するとともに、薬理、安全性、薬物動態などの前臨床開発研究のプロジェクトリーダーを担当されました。その業績を評価され、2009年より社内のフェローに選任され（現在、帝人グループで近藤先生のみ）、独立研究室を設立して現在は先端医療材料、医療デバイスを研究されています。本講演では、製薬企業における研究テーマの設定の考え方、リード化合物の合成展開と薬効評価など、研究開発の進め方や上市に至る過程を、新規な痛風・高尿酸血症治療薬を事例としてご紹介頂きます。多数の皆様のご来聴を歓迎いたします。

連絡先：化学科・中村浩之（内線：6491）